
自分用

2313

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

自分局

【コード】

N1035W

【作者名】

2313

【あらすじ】

脚本っぽいもの。

いちおう、それっぽく。

〔南高体育館〕

開始：

壇上の教頭先生アップ

教頭に何かしゃべらせながら、「卒業式次第」をゆっくり流す。

メイン ”今日は卒業式”

画面変更

校門付近からみた、桜の木

微風。少し揺れる程度。

地面には4、5枚程度の花びら。

メイン”そっちの方がいい。写真撮影のために”

画面変更

卒業式場。

最後方から、式場全体を見渡す感じ。

カメラから見て最奥、壇上で、一人の代表生徒が卒業証書を受け取る。

メイン”泣くもんかって思っていたけれど、やっぱり難しいかなあ”

MOB”学校長式辞”

画面変更

メインの顔アップ

普通ー>しかめっ面。 鼻を少し動かす。

メイン” なんだかんだで、校長のお話も最後なんだ。今回ばかりは、真剣に聞いてやろう”

画面変更

斜めからのアングル。

来賓席くらいの角度。

壇上の校長先生を中央に捕らえる。

画面変更

メインの顔アップ と同時に、校長の声を少しくぐもらせる。

メイン” 悪化したあ”

目の下の方に少しだけ、涙をためる。

メイン” まだ、まだ引き返せる。私は泣いていないサイドの人間”
自分に言い聞かせる感じで。

MOB” 卒業生退場”

メイン” なんとか我慢して卒業式を乗り越えた。後は、写真撮影で泣かなければ完璧だ”

画面変更

昇降口から桜の木に向かうメイン&MOB

メイン” 打ち上げあるとかないとか言っていたけど、それは楽しめば大丈夫” 自分に言い聞かせる感じで。

画面変更

桜の木の前に整列する他クラス。

桜は花がギリギリ写らない程度。

そのクラスが終わって、次のクラス「自分のクラス」が並ぶのを写しつつ台詞。

メイン”みんな泣きそうなんだ。そうでなきゃ、こんなに並ぶのが早いわけない。やっぱり、私だけじゃないよね”

画面変更

メイン視点。

視界に数人のクラスメイト。

中央にはカメラ。

カメラマン「はい、じゃあ、とりまーす」
メイン”女子はまだいいけど、男子は死活問題だよー。絶対いるもん。泣いてるのをいじる奴”
カメラマン「はい、もう一枚とりまーす」
メイン”はっ、ラスト一枚”

画面変更

メインの顔アップ。

はっ、とした表情→まじめな表情。

直後に、髪をなびかせる。

画面隅に、桜の花弁。

シャッター音と同時に、画面真っ白。

緩やかにフェードアウト。

カメラマンを斜めから捉える。

カメラマン「はい、終わりました」

カメラマンの白髪を風に吹かせる。

集団の中の一人として、メインを捉える。
桜を見ようと、振り向いているメイン。
振り向き終わると同時に、メインの顔アップ。斜め下から。

MOB「きれい」

メイン”誰かがいった。私もそう思った”

画面変更

花弁を降らせる桜。

カメラ下からあげていく。

メイン”自由になった花弁。美しいと、そう思う”

画面変更

玄関あたりから、大きく桜の木を捉える。

見とれている生徒も描く。

カメラ、高い位置から。校舎二階程度。

メイン”けれど、それは、花弁ひとつひとつを繋いでいたモノを失ったということ”

校門外側から。

校門周辺から、風に乗ってマック方向へ。

メイン”風に乗ってどこまでもいけるといことは、みんなが遠く離れてしまうということ”

風の効果音。

空高く舞う、桜の花びら。

MOB「おっ、あいつ泣いてるぜ」

画面変更

メインアップ。涙の筋。

桜を視界に入れたまま、静かに、右手で自分の頬をふれる。

その手をみる。少し塗れている。

カメラ下から空を見上げる。

メイン「いきなり風が吹いたせいだし」

セリフと同時に、風の効果音。

画面内には、風にとばされる一枚の花弁。

終。 スタッフロール？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1035w/>

自分用

2011年10月7日01時22分発行